



鹿児島県

母子会だより



この広報誌は赤い羽根
共同募金の助成を受けて
発行しています。



令和4年9月6日
第69回鹿児島県母子寡婦
福祉研修大会



令和4年10月23日
第49回鹿児島県
母子寡婦父子家庭
大運動会



いぶすき菜の花マラソン
1年で最もはやく開催されるフルマラソン
大会。指宿市総出の「おもてなしや景観」が
最高のマラソン大会です。

106号
令和5年1月31日発行

発行所 社会福祉法人 鹿児島県母子寡婦福祉連合会(鹿児島県社会福祉センター内)
鹿児島市鴨池新町1番7号 電話099-258-2984 FAX099-296-8123
URL <http://www.kaboren.jp/> E-mail kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp
発行人 久保 郁子

ごあいさつ

鹿児島県母子寡婦福祉連合会

理事長 久保 郁子



新年あけましておめでと
うございます。皆様におかれま
しては、健やかに令和五年の
新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

三年続いたコロナ禍におい
て、計画していた行事も実施
できない状況でしたが、令和
四年度は、七月の母と子の日
帰り交歓研修会を皮切りに、
九月は鹿児島県母子寡婦研修
大会や母子寡婦父子家庭大運
動会など、感染防止対策に留
意しながら実施することがで
きました。久しぶりに会員の
皆様と触れ合うことができ、
心から嬉しく思いました。

また、九州地区母子寡婦福
祉研修大会は参加者を大幅に
減らしての開催、全国大会は
「withコロナ」時代に即

した開催方法の模索が必要で
はないかと感じました。

さて、本会は今年で創立
七十周年を迎えます。昭和
二十九年に結成して以来、今
日まで大会が継続できました
のも、諸先輩方のたゆまぬ努
力と熱意があればこそと、深
く感謝しております。創立
七十周年記念鹿児島県母子寡
婦福祉研修大会の開催に向け
て、大会の運営や記念誌の発
行に向けて準備をしておりま
すが、多くの方々会場に足
を運んでいただき、充実した
大会になるようご協力をお願
いいたします。

本会は急速に進む「高齢化」
や「後継者不足」「会員の減少」
などの大きな課題に直面して
おります。また経済の変動や
物価高騰など、ひとり親家庭
にとっても大きな影響を受け
ております。今こそ人と人の
つながりを大事にし、孤立・
孤独になる会員がでないよう
に支えあい、母子と寡婦、父
子ともに協力していきたいと
思います。この一年が皆様に
とりまして、希望にあふれる
素晴らしい年となりますよう
心からお祈り申し上げます。

第69回 鹿児島県母子寡婦 福祉研修大会

令和4年9月6日(火)

「つながり人の輪、
守ろう地域の輪」

場 所：鹿児島市民文化ホール
(第二)

未来を担う子ども達の貧困
の解消やひとり親家庭及び寡
婦の福祉の向上を目指して研
修討議を行い、更なる充実強
化を図ることを目的として、
この大会が開催されました。

講 師 川添 義一氏
演 題 「フードバンクにつ
いて」

アトラクション

大野 勇太氏
ミニコンサート
表彰者 春田 みずえ氏

第69回県研修大会

曾於地区 平野 和子

令和四年度は、コロナ禍で
三年振りに曾於地区の担当で
の開催でした。役割を決めそ
れぞれの立場に適する方を選
んで大会にむけて準備してき



ました。講師には「フードバ
ンクそお」の事務局長の川添
義一氏に食品ロスの問題や貧
困問題について講演してい
たいただきました。体験発表は
シガーソングライターの大野
勇太氏に素敵な歌を聴かせて
いただきました。体験発表は
曾於市の福満明美さんと大崎
町の埜中スズ子さんにお願
いしました。前日の台風で開催
も心配されましたが、沢山の
方に参加していただき、これ
からも皆さんと手を携えなが
ら一致団結していきたいと思
います。

表彰を受けて

入来支部 春田 みずえ

この度、永年功労者として
表彰を頂き誠にありがとうございます
ございました。

平成二十四年四月に薩摩川
内市入来支部長をお引き受け
し、十年が経過しました。振
り返つてみますと、不安な中
諸先輩方に意見を伺いな
がら、活動が始まりました。県
母連との連携はもとより、行
政や社協のご支援とご協力、
また会員の方々の協力があつ
て初めて活動が出来ているこ
とを心から感謝しております。
コロナ禍以降は、計画し
た行事を延期したりまた時に
は中止したり、厳しい日々が
続きました。今は規模を縮小
しながら活動しております。
会員減少は最も深刻な問題
です。少しでも歯止めをかけ
るためにも、母子会の絆を絶
やすことなく、それぞれの地
域に応じた知恵や工夫を重ね
ながら、次の世代にバトン
タッチしていきたいと思つて
おります。

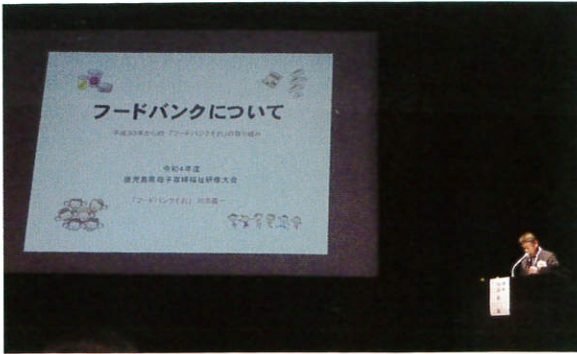


大会要旨

川添氏は、曾於市福祉事務所長を経て、現在「フードバンクそお」の事務局長として活躍されています。

講演では、貧困率の現状を踏まえ、こども食堂や生活困窮者支援に食品等の提供を行っている日頃の活動状況の紹介がありました。

食品ロスの「もったいない」や「必要な人へ必要な支援を」など、格差社会での大切な活動であるということを改めて学ばせて頂いた講演でした。



大野氏は、宮崎県都城市在住のシンガーソングライター。披露していただいた曲は、

ひとり親として、二人分頑張らないといけないという想いから、頑張り過ぎて疲れ果てた時に、肩の力を抜いて立ち止まってみようという曲「頑張らないこと 頑張ってみよう」や、ラストソングは「リスタート」これは「人生の再スタート」という曲など。

コロナ禍での辛いこの時期をみんなで乗り越えようという熱い想いを込めた歌声に、三年ぶりの研修会の参加者は元気をもらい、会場が一体となったミニコンサートでした。



県研修大会に参加して

曾於地区 福満 明美

台風の影響で、開催できるのか？心配しておりましたが、無事開催できてほっと致しました。ありがたい事に体験発表を依頼されドキドキでした

が、ローソンと全母子協の「夢を応援基金」ひとり親家庭支援奨学金制度で奨学生に選んでいただき、無事に長女が看護師の道に進む事ができた事を発表させていただきました。母子会との出会いに感謝している毎日です。

コロナ禍やウクライナ情勢に伴う原油価格や物価の高騰で、日々の生活も大変になってきています。ひとり親世帯の方々に幸せが訪れる支援制度が広がっていくように願っております。



第69回九州地区母子寡婦福祉研修大会

期日 令和4年6月11日(土)
会場 くまもと県民交流館 パレア(熊本県)

三年振りの開催で、コロナ感染予防のため、参加者を百人規模とし、本県からは三名参加、半日大会となりました。

九州大会に参加して

事務局長 江口 伸

三年ぶりの九州大会が熊本で開催され、初めて参加しました。当初各県参加者三十名の割り当てでしたが、最終的に制限され三名のみの参加となりました。当日は会場とオンラインの同時並行で、今年度主催の熊本県はコロナ禍の中で安心安全に「中止しない」大会開催という強い思いで臨機応変に対応された大会となりました。講演は時間的制約があり、DVDの配布となりましたが、厚生労働省の齋藤自立支援室長の行政説明や五名のパネラーによる研修討議は充実したものでした。



「人生は一冊の問題集。解けない問題集はない。」母子会が印象的でした。コーディネーターの阿部先生も離婚後母子家庭となられた後に努力された時間の中での進行や取りまとめは素晴らしいものでした。例年の大会のようなアトラクションはなかったですが、開会式に人気者の「くまモン」が花を添え、半日大会という厳しい日程の中にいろいろ工夫を凝らされ、また、今後の開催県の経費面を含めた負担軽減を提起された「新しい形態の九州大会」となったのではないかと思うところでした。



鹿児島県は、令和三年度は中止となりましたが、次回令和九年度開催に向け、熊本大会のように立派な大会にしたいと改めて心したところです。



曾於地区



始良地区

曾於地区 曾於地区の皆さん、大会旗を持たせて頂き、また壇上にて準備運動の体験もさせて頂きました。色々な競技に参加して、小さな子ども達から元気をもら

今年度は、始良地区の担当でした。理事は前日の午後から体育館で準備をして一泊し、当日は九時には出掛け、後片付けまでとても大変でしたが、久しぶりの運動会は、やはり楽しい一日でした。地域ごとの行進、準備運動もワクワク。七十代、八十代の方々も我を忘れて走る姿に圧倒され、仮装行列は皆さんそれぞれ考えて素晴らしく、お面をかぶれば恥ずかしさも忘れ、とてもはまりました。対戦中、お弁当タイム、行き帰りの車の中での会話も楽しく、参加することの大事さを実感された皆さんだったろうと思います。

隼人支部 天川 ゆかり

庭大運動会

コロナ禍で3年振りの開催となりましたが、そんな中でも皆さん楽しく参加していただきました。



準備体操



選手宣誓

初めて、鹿児島支部 下野 綱 父家庭大運動会に参加させていただきました。会場に着いて、受付係りのスタッフとして、各地区からの会員の皆様をお迎えしました。長引くコロナ対策のおかげで、スムーズな検温、消毒をなさつての入場でした。さて、いよいよ競技開始です。鹿児島市からの子どもさんの参加はひとりでした。そのお母さんによると、学校では、リレーの選手になることではないとの事ですが、本大会では、毎回のように選手となつて走り、なんと2人も抜きさつていました。お子さんの能力の新たな発見に、思わず感動を覚えたお母さんでした。

午後からの恒例の仮装行列では、ピンク色のかわいい妖精、美しい魔女、なんだかいつもみなさんとは、ずいぶん違います。記念撮影では、溢れる若さ、いっばいの笑顔で、若さ呼び戻せる「特効薬」ホントにあるんですね！

お子さんに対して新たな発見をなさりたい方や、たまには若返ってみたい方は、会員になつてみませんか！なんて思ってしまう今年の運動会でした。



日置地区



南薩地区



鹿児島地区



鹿屋・肝属地区

「今年始良地区が担当だから福本さん親子に是非。」とお声掛け頂き選手宣誓を任される事になりました。文言を考え、息子と娘と一緒に練習し、当日の朝は少し緊張しながらも無事に選手宣誓を終え、母子寡婦会の皆様や準備をして下さった係の方々和やかに競技する事ができました。子ども達の笑顔を見て、沢山の人の優しさを頂き、心が温かくなった一日となりました。

い、年輩の方々からは温かい声援もとても嬉しく思いました。翌日は身体の筋肉痛もありましたが、頑張った証だと思えます。また、来年の運動会も皆さんとお会いして、たくさん笑顔を見させて頂きたいです。ありがとうございました。

始良支部 福本 朝美



玉入れ

第49回 母子寡婦父子家

期日：10月23日（日） 参加者：438人
会場：鹿児島国際大学フィールドハウス（体育館）

入来支部 大原 春美

三年ぶりの
県下選手の集い来る
今日は快晴大運動会

ハロウインの仮装行列音楽隊
秋芸術を奏でてデビュー

珍演奏カスター・タンバリン
秋リズム

ゴッタン・バイオリン
秋メロディと

優勝は和牛日本一の
曾於地区の
少年二人トロフィー掴む

さわやかな
大学生のボランティア
全ての競技無事終える

ご苦労さん
誰か置きたるカライモや
甑の夕日癒やされる宵

里の秋草日記



出水地区



川薩地区

令和4年度 全国母子寡婦福祉 研修大会

事務局長 江口 伸

十一月五日土曜日に三年ぶりに開催された滋賀県での全国大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策として会場参加は近畿地区のみとなり、他の地域はユーチューブによるオンライン配信での参加となりました。

大会は例年の二日間大会ではなく、半日大会で厚生労働省の行政説明はオンデマンド配信という、限られた日程の中で何かと工夫を凝らされた大会となりました。



研修討議のコーディネーターや講演をされた県立広島大学の田中聡子教授のコロナ禍でのひとり親家庭の実態や支援策について詳細な説明がなされました。その後、全国母子団体のモデル事業とするための「多機能型シェアハウス」という滋賀県の取り組みの発表がありました。住居が不安定な母子家庭の生活再建に向け、三か月の期間中に寄り添いサポートし、自立に向けた支援を行うもので途中地元のテレビ局で放映された活動状況も紹介されました。入居期間中には役所の手続きや就労支援や自立のための家探しといったきめ細やかな支援をされていました。

滋賀県母子福祉のぞみ会は、その他にも子ども食堂、居場所づくり、フードバンク、テイクアウトお弁当等の多岐に渡る活動をされており、大会のメインテーマ「つながり人の輪、守ろう地域の輪」を実践されていると感じたところです。初めての全国大会参加、オンラインではありましたが、充実した研修となりました。

ひとり親家庭等就業・自立支援事業

講習会の開催

パソコン講習会

大島地区 奄美市

講習期間 令和4年8月7日(日)～10月1日

会場 パリティビッド(土)

受講者数 9名

講習会を終えた感想

K・Kさん

老後の事を考えるとパソコンを使えたら良いなと思っるところでの、この講習会でした。先生には私のペースに合わせて分かりやすく教えて頂き感謝しています。

K・Sさん

子どもの風邪や親子での体調不良がかさなったりしましたが、前回の予習・復習が必ずあり、分らないところはすぐに先生が教えてくださったので、勉強になりました。沢山の方々のご指導やお気づかいに感謝いたします。

M・Sさん

入力くらいの事は出来ましたが、一から学べて感謝です。講習の始めは難しく試験も合格するか心配でしたが、学ぶうちにひとつずつ出来るようになり、分からない所や、休んだ時も先生や友達から丁寧に教えて頂きました。コロナ禍で人に会う事もなく、少し孤立感もありましたが、教室へ行き皆さんと繋がりを持つて生きている今が楽しいと思えました。私達母子や父子は特別ではないですが、このような支援を頂き嬉しい気持ち

でいっぱいです。今後このような講習があれば受講し、自分を向上させたいです。

K・Aさん

初めてのパソコン、ドキドキでついていけるのかと思っていました。初めて聞く用語が多く覚えるのも大変。それより先生がたのほが大変だったと思います。分りやすく教えて下さりありがたかったです。キーボードやマウスの操作も上手くできず時間がかかりました。ひとつずつ解り出来るようになると、楽しくなりパソコンに向かう事が増えてきました。もう少し講習の期間が長かったらと思います。これからは、いろいろなことが出来るように挑戦したいです。



講習会の開催

子育て支援員講習会

伊佐地区 伊佐市

講習期間

令和4年9月10日(土)～10月1日

会場

菱刈環境改善センター・さくらの里こども園

受講者数

6名

講習会を終えた感想

N・Iさん

講習会を開催して頂きありがとうございました。子ども達の進学等を考えると不安があり、ステップアップを考えていたので、今回の講習受講はその第一歩となりました。先生方にはとても丁寧に教えて頂きました。

子育て支援の政策についての講義は少々難しく感じましたが、伊佐地域ではどういった支援事業所があり、どんな役割を担っているのか、調べてみようと思います。その他の講義は自分の子どもの成長と照らし合せながら、答え合

わせをしているようでした。支援内容を拝見しましたが、五日間の講習を受講しただけで出来るのだろうかという不安が正直なところあります。伊佐では初開催という事でしたので、他の地域の子育て支援員の方の話を聴く機会などあればと思うところです。

M・Sさん

最初日程を見た時は、最後までクリア出来るだろうかと思いましたが。毎回の講義を受けていくうちに頑張ろうという気持ちで、現代の子育て事業、乳幼児期、学童期、児童にとつての発達また児童の病気、緊急時の対応と応急処置と色々分らない事を学び、良い経験が出来たと思います。講師の先生方、受講者が少ない中一生懸命講義して下さい、感謝があります。この支援員を伊佐市で発揮出来るように頑張っていきたいと思えます。

M・Sさん

この度、諸先生方の講義にて子どもの人権保護、子どもの発育、心理、保育園の実習、分りやすい資料もあり、色々な事を学び取る事が出来まし

た。子育て支援員の大切さ必要性を強く感じました。子どもの成長は家庭環境も関係しており、ひとり親家族の状況、未熟な母親、核家族化も進む中、相談する人や場所もなく悩んでいる方々が地域の中にもいらつしやるのかもしれない。今回の講習で得た知識で地域の皆様とともにお手伝い出来ればと思っています。

M・Sさん
今回の講習会は、短期間というスケジュールでしたが、何日にもなると、受講出来たかなと、終えた今思います。今まで母子寡婦福祉連合会という会がある事を知らなかったもので、よい機会になりました。子育て中の今は助けて頂き、自身の子育て後は誰かのお役に立てたらと思います。



夢を応援基金

ひとり親家庭支援奨学金制度

この奨学金は、ローソングroupと全国母子寡婦福祉団体協議会が力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんを応援する給付型奨学金です。



- ◆奨学金額 … 月額3万円 (給付型のため返還は不要)
- ◆対象者 … 中学3年生、高等学校1年～3年、高等専門学校1年～3年等に在籍する生徒
- ◆募集人数 … 全国400名 (選考により決定)

2023年度募集については、2月頃にお知らせする予定です。

詳細につきましては全国母子寡婦福祉団体協議会のホームページにてご確認ください。



会員さんより

令和四年度第六十九回
鹿児島県母子寡婦福祉
研修大会に参加して

川内支部 青崎 裕

今回ご縁があり研修大会に参加させていただきました。私の家族は高校一年生の娘と私のひとり親家庭です。今回の参加は初めてでもあり不安もありました。薩摩川内市の集合場所からバスで会場へ向かう車中で、皆さんに挨拶や声をかけて頂き和気あいあいとした雰囲気には不安はすぐ解消されました。

大会にさきがけ秩父宮妃殿下御歌の斉唱があり殿下の歌詞に込めた思いと本連合会の歴史を感じました。開会式の後主催地区の曾於市と大崎町から「夢を応援基金について」と「寡婦会に入って」をテーマに体験発表がありました。「夢を応援基金について」は県子ども家庭課長より講評の中で補足説明もありました。ひとり親世帯の子どもの違いが経済的に厳しくても夢を現出するように創設された返還義務のない奨学金で五年前にローンが支援して全母子

協が運営して始まったそうです。この制度は子どもの夢の実現の為への素晴らしい制度です。多くの方に知ってもらい、夢が実現に近づければと切に願います。

午後から「フードバンクについて」フードバンクそおさんの取り組が紹介され、私も食生活アドバイザーをしておりますので食品ロスや子どもの貧困問題解決について非常に興味がありました。最近の物価高による食材の高騰に加え企業や家庭での食品ロスと貧困層への食品の提供をマッチさせる取り組みや子ども食堂へのかかわりなど、これから社会でみんなで取り組む際に参考になりそうな講演でした。今大会は三年ぶりということで感染症対策を万全にしての開催でした。来年は川薩地区が担当という事で、感染症が収束に向かい気にせず開催できる日がくれば良いな、と思います。今回大会に参加して母子寡婦会をもう少し早く知ってれば良かったという思いと、若い方の参加が少なく寂しい印象も受けたので、若い世代の方は、仕事やいろんな用事等忙しいとは思いますが、機会があれば時間

を作って気軽に参加してはいかがでしょうか。私も今後いろいろな活動にも気軽に参加できたらと思います。ひとり親家庭及び寡婦の方々の生活の安定と福祉の向上が少しでも図られますよう願っております。

さわやかさん

宝山ホール(県文化センター) 売店
肥後 アユ子

令和四年九月より採用いただき早三ヶ月が過ぎました。コロナ禍で減少していたイベントの影響で、売店の商品は少ない状態のままイベント数は元に戻りました。以前、売店に來られたお客様で「ここには珍しい物が置いてあるから」とわざわざお連れ様に声掛けされ、お立ち寄り下さった方がいらっしやいました。大変感激しました。

ホールの売店販売員として実務経験、知識はまだまだ足りませんが、販売業務のみならず、売店にお立ちより下さった皆様のご要望にできる限りお答えできるよう務めて参りたいと思っております。

ライン (LINE) 公式アカウント
お友だち登録について

皆様 LINE の登録はお済みですか? 県母連では、ホームページやライン (LINE) で、最新の情報イベント・求人情報・各地区の会報誌など掲載しております。ぜひお友だち登録をお願いいたします。また、皆様からのご意見や掲載して欲しいことなどどんどん、県母連へお寄せください(*^_^*)

LINE公式アカウント始めましたので、ぜひ!! **お友だち登録** をお願いいたします。

お友だち登録のやりかた

- ①LINE(ライン)アプリを開く
- ②画面下のホーム を押す
- ③ホーム画面右上の友だち追加 を押す

※友だち追加画面上のQRコードを押して県母連のQRコードを読み取る

編集後記

寄稿してくださった皆様ありがとうございます。紙面の都合上、やむをえず一部割愛させて頂きました。ご了承下さい。

令和4年度 事業計画	
2023年1月28日	第2回 母子部リーダー研修会
2023年2月下旬	第3回 母と子の日帰り交歓研修会(予定)
2023年3月10日	第3回 理事会
2023年3月25日	第2回 評議員会

中国商事様より令和四年九月六日に一万円、有限会社すみれ様より令和四年九月二十七日に二万円頂きました。

寄付金
ありがとうございます